

# 令和2年度 東又小学校経営方針

## 1、教育基本方針

本校の実態や特性を踏まえ、国・高知県・四万十町のエ育行政方針に基づき、知・徳・体の調和のとれた教育を創造し、心身ともに健康で人間性豊かな児童を育成する。

## 2、学校教育目標

「心豊かな児童の育成」・・・変わる可能性あり

## 3、目指す子ども像・教師像・学校像

### (1) 目指す子ども像

- ☆進んで考え、自ら学ぶ子ども
- ☆心豊かで思いやりのある子ども
- ☆健康でねばり強くやりぬく子ども

### (2) 目指す教師像

- ☆一人一人を大切にする教師
- ☆自己啓発に努める教師
- ☆地域を大切にする教師

### (3) 目指す学校像

- ☆明るく活力のある学校
- ☆助け合い励まし合う学校
- ☆地域とともに歩む学校

## 4、校内研究主題

「自ら課題を見つけ、主体的・協働的に学ぼうとする児童の育成」  
～ 話し合い活動を通して ～

## 5、令和元年度教育の重点

### (1) 基礎学力の定着と学力の向上

#### ① 校内研修の充実

学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校としての指定を受けた研究の中で、研究仮説を2つ位置付け、研究を進めてきた。1つめの仮説として、単元構造図の中にゴールイメージを位置付け、図書や新聞を活用した授業作りの研究を行ってきた。そのことを通して知識や考えを広めたり深めたりすることができ、学力向上につながってきた。

もう1つの仮説として、授業の中で話し合いや交流の目的を明確にし、自分の考えを表現できるような授業作りを行うことで、主体的・協働的な学びに向かう態度が育成されると考え実施してきたが、協働的な学びを支える対話の活動が弱かったという結果となった。

そこで今年は、昨年度までの研究を更に充実し、児童に協働的な学びを支える対話ができるよう、話し合いや交流の目的を明確化し、「考えが広がった・深まった・話合ってよかった」と実感できるような話し合い活動ができるようにし、友達と意見交流することで、自分の考えを再構築することができるような活動へと高めていきたい。

#### ② 授業改善

問題解決的な授業スタンダードを行い、授業改善を図る。また、単元構想図をもとに、ゴールイメージをもつとともに振り返りの充実を図る。

「授業づくり講座」の指定を受けて取り組むことで、授業改善を図る。

③ 基礎学力の定着と学力の向上

朝学習や漢字チャレンジタイム、放課後加力指導を活用し、国語・算数を中心に基礎基本の徹底を図る。放課後加力指導は、今年度も、民生委員・児童委員さんに協力して頂く。NIE タイムを活用し、読み取る力や書く力を伸ばす。また、今年も様々な体験や経験をもとに、記事を書き、高知新聞に投稿する目的をもち、書く力をつける。

全国学力・学習状況調査及び高知県学力定着状況調査、CRT において、全国平均以上を取れるようにする。

④ 家庭学習

家庭学習の質と量の充実を図る。(四万十町全体で統一)

授業に活かす家庭学習の在り方を工夫する。

(2) 心の教育の充実

① 道徳教育・人権教育・特別支援教育

『考え行動する道徳授業』の推進と、道徳科の評価の工夫改善を行う。

Q-U 調査アンケートの活用、SC との連携により、一人一人の心に寄り添った児童理解に努め、友達の良さを理解し互いを尊重しあう心の育成を図る。

② 読書活動

読書は心を豊かにし、学力向上につなげる。昨年度までの取組と同じく、町立図書館にも協力して頂き、先行読書や並行読書を行うとともに、調べ学習なども含めた図書館教育の充実など、継続した取り組みを進める。

目標冊数を定め、子どもが学校図書館へ定期的に通い、進んで読書をするような取り組みを行う。

(3) 健康・安全教育の充実

① 防災教育、安全管理

安全教育の一環として、組織の確立、防災避難訓練、災害発生を想定した訓練の一層の徹底を図るとともに、防災学習の取組を引き続き行う。今年度は、防災キャンプを学校で行ったり、志和地区へ津波から逃げる避難訓練をおこないに行くなど、地域に密着した取組が進められるようにする。

火災避難訓練や、不審者避難訓練等、安全対策をしっかり取れるような学習を行うとともに、定期的に安全点検を行うようにする。

② 体力づくりの取組

走る・跳ぶ・泳ぐ・投げるなど、年間を通した体力向上の取組で、基礎・基本を習得させる。

体力テストの結果をもとに体力面で弱いところを強化するよう工夫して取り組む。

③ 基礎的な生活習慣づくりの取組

生活習慣は学力との相関がある。生活調べを実施し、その結果を家庭と共有し、基礎的な生活習慣を定着させる。

「早寝、早起き、朝ごはん」が身に付いた生活ができるようにする。

④ 食育

食は生きる上で欠かせないものである。義務教育初期の段階での指導がより効果的であり、栄養教諭との連携や、給食指導の一層の充実を図る。

昨年度まで「よい歯の表彰」を3年間引き続いて受けた成果を生かし、今年度も引き続き、齲歯罹患率を減らしていくことで、将来にわたって健康に食べられる歯を育てられるようにする。

#### (4) 学校・家庭・地域との連携

##### ① 保小中連携教育

子どもの発達や学びの連続性を踏まえた保小の接続を組織的に取り組み、子どもの健やかな育ちにつなげるようにする。

スタートカリキュラムの作成・実施により、円滑な保小の学びや育ちをつなげ、スムーズな学校生活を送れるようにする。

窪川中学校との小中連携を継続し、スムーズな接続ができるようにする。

##### ② 地域学校協働本部

「地域学校協働本部」の充実を図り、これまで以上に子どもたちを日常的に見守っていけるようにする。

「東又の子どもを守る会」等の会の充実を図り、地域とともにある学校づくりを進める。

##### ③ 地域資源・人材バンクの活用

生活・総合的な学習の時間やクラブ、東又まつりなど、地域の特性に合わせた活動を行うために、地域資源や人材を活用する。

学校林やビオトープなど、学校にある資源を、今後もより一層有効活用する。